

令和5年

# 夏の交通事故防止運動

## 実施要綱

### 実施期間

7月22日（土）～7月31日（月）



### 目的

この運動は、夏休みに入るこの時期に、子どもたちや若者の開放感から起こる事故や、夏のレジャーによる疲労運転等から起こる事故が懸念されることから、「事故を起こさない」「事故に遭わない」ために、広く県民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

### スローガン

**「思いやりクールにゆずる 夏の道」**

### 運動の重点

- ① 横断歩行者等の交通事故防止  
～渡るよサインの活用～
- ② 疲労運転の防止
- ③ 飲酒運転の根絶



### 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、この実施要綱に基づき、それぞれの実情に即した具体的な実施計画を策定するとともに、積極的な広報活動などを通じて、すべての県民に周知を図ることにより、この運動への参加意識を高め、幅広い県民運動として展開します。

(公財) 柏崎地区交通安全協会

# 重点① 横断歩行者等の交通事故防止 ～渡るよサインの活用～

## 横断歩道では「歩行者が最優先」である交通ルールを再確認！

横断歩道では、横断歩行者が最優先です。

ドライバーは、横断歩道を渡っている、または渡ろうとする歩行者がいた場合、一時停止をしなければなりません。また、横断する歩行者がいないことが明らかな場合のほかは、横断歩道の手前で停止できるような速度で運転しなければなりません。

これらを守らなかった場合は、横断歩行者等妨害等違反になります。

### ～横断歩行者等妨害等違反の罰則関係～

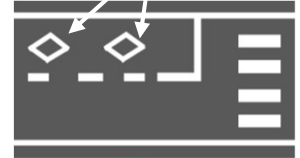
罰 則	3月以下の懲役又は 5万円以下の罰金	反則金	大型車：12,000 円 普通車：9,000 円 二輪車：7,000 円 原 付：6,000 円
違反点	2点		

◎ ドライバーは横断歩道の標識やダイヤモンドがある場所では、その先にある横断歩道を渡っている人、渡ろうとしている人がいないかしっかりと確認しましょう。

横断歩道標識



ダイヤモンド



◎ 夕暮れ時は、早めに前照灯を点灯し、歩行者や自転車利用者を早く発見するとともに、自分の存在を周囲に知らせましょう。

## 歩行者も安全確認、横断時は「渡るよサイン」の活用！

道路を横断する時は「渡るよサイン」で周囲に道路横断の意思を示すとともに、横断前の左右の確認はもちろん、横断中も車が近づいて来っていないか確認しましょう。



「渡るよサイン」は、手を上げる、目で合図を送るなど歩行者がドライバーに横断意思を伝える動作をいいます。

## <目指せ!全国ワースト6位から脱却!>

昨年、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）において、信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしている場合における車の一時停止率の調査結果は、**全国平均39.8%**と令和3年の調査結果30.6%より増加しました。

しかし、**新潟県は25.7%**と令和3年の調査結果37.3%に比べて大きく減少する結果となり、全国順位では**ワースト6位**となりました。

停止率の高い都道府県		停止率の低い都道府県	
1	長野県 82.9%	1	沖縄県 20.9%
2	兵庫県 64.7%	2	和歌山県 22.5%
3	山梨県 64.6%	3	京都府 23.5%
4	静岡県 60.8%	4	佐賀県 25.1%
5	岐阜県 57.0%	5	北海道 25.2%
6	青森県 56.7%	6	<b>新潟県 25.7%</b>



## <「安全運転チャレンジ100」で横断歩行者の保護意識を高揚!>

県民参加型の交通安全運動「安全運転チャレンジ100」の達成条件に「横断歩道における歩行者横断意識を持った運転」を新たに加えて、本年も実施いたします。

令和5年7月1日から参加者募集を開始しますので、チラシ（新潟県HPに掲載予定）をご確認ください。

## 重点② 疲労運転の防止

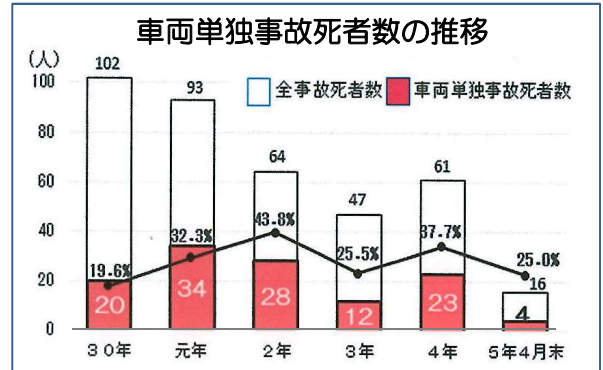
夏場の運転は体調に十分注意を！



夏場は、暑い屋外での活動の他にも、熱帯夜で十分な睡眠がとれない場合や、屋外と屋内との気温差などで、自分でも気がつかないうちに疲労が蓄積し、運転に必要な集中力や注意力を維持できず、漫然運転や居眠り運転につながります。夏場の交通事故を防止するためには、ご自身の体調を考えて、運転をしないことも大切です。

車両単独による死亡事故増加！

令和4年の新潟県の交通事故死者数は61人（前年比+14）でした。その中でも、車や自転車の運転操作を誤りガードレールに衝突したり、用水路に転落したりするなどの単独事故で亡くなった方が23人（前年比+11）と全体の約38%を占め、前年よりも増加しました。



また、過去5年間の車両単独事故の死者数はおおむね横ばいで推移しています。万が一の事故から自分の命を守るため、車に乗車する際はシートベルトを、自転車利用時はヘルメットを必ず着用しましょう。

## 重点③ 飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です！



暑くなるこの時期は、冷えたビールや日本酒がおいしく、様々な場面で飲酒することが増えます。

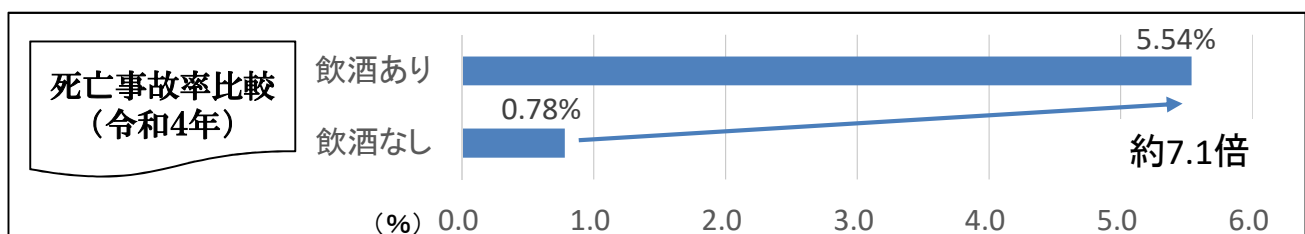
令和4年中新潟県の飲酒運転による交通事故発生件数は**35件**で、**3人**の方が亡くなっています。また、本年4月末現在の飲酒運転による交通事故発生件数は**10件**で、昨年同月比より増加しています。

過去に何度となく、飲酒運転を伴う悲惨な交通死亡事故が発生し、その都度、道路交通法の改正により厳罰化されてきましたが、いまだ飲酒運転による交通事故が発生しています。取り返しのつかない結果を招くのが飲酒運転です。

また、二日酔いも飲酒運転になりますので、深酒した翌日の車の運転は控えましょう。

～ 飲酒運転の死亡事故率 約7.1倍 ⚡ ～

飲酒の有無別による交通事故の死亡事故率を見ると、飲酒運転による死亡事故率は、飲酒なしの場合と比べて**約7.1倍**も高く、飲酒運転が極めて危険性が高い悪質な運転行為であることが分かります。



令和5年  
4月1日  
施行

## 全ての自転車利用者の ヘルメット着用が努力義務化されました。

自転車事故により亡くなった人の約6割は頭部に致命傷を負っており、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時の約2.1倍も高くなっていることからヘルメットの着用により頭部を守ることが大変重要です。



### ～入っていますか？自転車保険～

令和4年10月1日から加入が義務化されました。(詳細は「新潟県 自転車条例」で検索)

参加者  
大募集

## チャレンジ100に参加してみませんか？

### 安全運転・チャレンジ100

【募集期間：7月1日～8月31日】

【実施期間：9月23日～12月31日までの100日間】



運転免許を有する家族・友人・職場の仲間など、ドライバー5人1組でチームを組み、お互いに注意しあって100日間無事故・無違反を目指します。達成チームにはもちろん、達成記念品が贈られるほか、抽選で旅行券等の豪華賞品が当たります。(参加者の年齢は問いません。)

### いきいきクラブ・チャレンジ100

【地区募集期間：7月3日～8月10日】

【実施期間：9月23日～12月31日までの100日間】



夕暮れが早まる時期の100日間、65歳以上の高齢者(運転免許がなくても参加可能)が5人1組になり、無事故・無違反にチャレンジする参加型の交通安全運動です。無事故達成チームには抽選でカタログギフトや商品券等が当たります。

夏の交通事故防止運動  
～主な実施内容～

- 1 交通指導所開設(予定)
- 2 街頭立哨
- 3 のぼり旗掲出・ポスター掲載(関係機関)
- 4 各広報誌及び「交通安全だより」による周知
- 5 ホームページによる広報

